

■「食の黄金文化・奥州」ロゴマーク



- ▶全体にあしらった黄金は、市産食材の価値の高さと作り手の想いの輝きを表現
- ▶王冠は「本物」としての称号。全体の形は本物の食材で作られた料理がある食卓をイメージ

～食の黄金文化・奥州とは～

本市は、古くから農林畜産物の一大生産地であり、食に関する産業も脈々と受け継がれています。この地域イメージと実体を生かし、農業と食の価値、知名度を高めて、地域ぐるみで産業振興に挑戦する。そして、食に関する文化も大切にしていこうというビジョンの基本理念です。

地域6次産業化の旗印

地域6次産業化ビジョン策定チーム（以下、策定チーム）は7月から8月にかけて、地域6次産業化ビジョンの基本理念「食の黄金文化・奥

市は、地域6次産業化ビジョン策定チームからの報告を受け「食の黄金文化・奥州」のロゴマークを決定しました。ここでは、ロゴマークに込められた意味や期待される役割などをご紹介します。

「本物」の食がある 奥州市を発信

「食の黄金文化・奥州」のロゴマークが決定！

州」のロゴマークを公募しました。

これは、消費者を満足させる質を持った「本物」の食と、それを生み出す豊かな地域資源がある本市の魅力を外内にPRするものとして、策定

チームが作成を市に提言していたもの。策定チームによる2度の審査を経て、寄せられた46人58作品の中から梅田浩司さんⅡ水沢区Ⅱのデザインが最優秀賞に選定されました。市は、この報告を受け、同デザインをロゴマークに決定しました。

つくる、伝える、広げる 食の黄金文化・奥州

ロゴマークは、今後開催される食の黄金文化祭や料理コンクールなどのチラシやのぼり、飲食店の認定プレートなどに使用。本市の「本物」の食とそれを育む自然環境、歴史、人などを全国に発信し、市の知名度を高めていきます。また、市外からの観光客はもちろん、市民の皆さんが地



策定チームがロゴマークを小沢昌記市長に報告

域6次産業化のイベントや商品、料理などに触れ、本市の食の魅力を再発見できる目印としての役割も担います。皆さん一人一人が「本物」の食を体感し、それを伝えていくことが、地域6次産業化を押し進める原動力になります。黄金色に輝くこのロゴマークを見かけたら、ぜひお立ち寄りください。

■問い合わせⅡ本庁政策企画課 地域ビジネス推進室（内線442）